

教育課程研究指定校事業実施計画書（平成30年度）  
**－ 研究課題 1 高等学校－**

都道府県・指定都市番号	40	都道府県・指定都市名	福岡県
-------------	----	------------	-----

公立・私立・国立（○で囲む）

1 研究指定校の概要

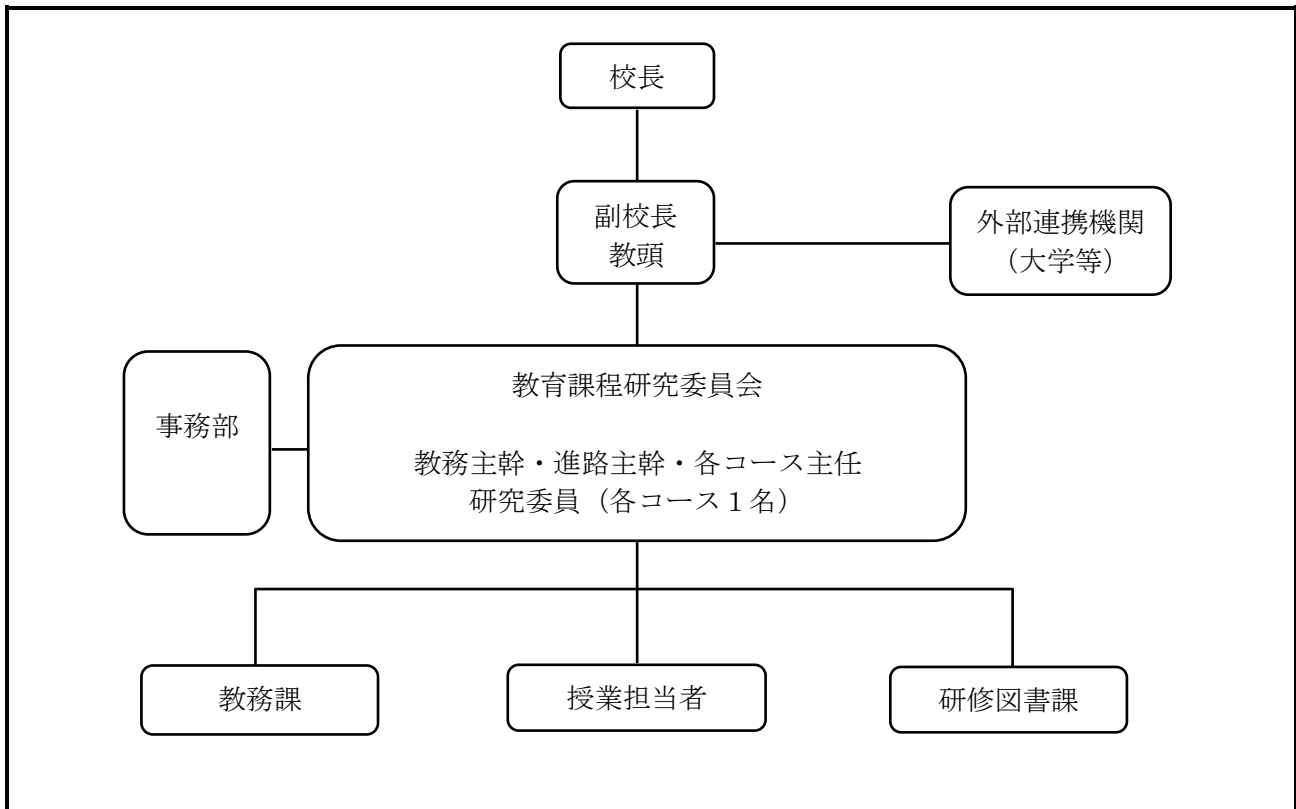
ふりがな 学校名	ふくおかけんりつすいさんこうとうがっこう 福岡県立水産高等学校				ふりがな 校長氏名	たにがわ ひろふみ 谷川 浩史
所在地	〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4-46-14 電話 0940-52-0158 FAX 0940-52-5023 e-mail suisan-h@pref.fukuoka.lg.jp					
設置する 課程 (H30.4.1見込)	1年次 水産科 2, 3年次 海洋科（航海・機関・マリン 技術）、食品流通科、アクアライフ科				(H30.4.1見込。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 50名	
生徒数 (H30.4.1見込)				[調査研究にかかわる教科等の教員数] 25名		
学科名	1年	2年	3年	4年	計	
水産に関する学科	162				162	
海洋科(航海・機関)		40	38	20	98	
海洋科(機関・マリン)		38	40		78	
食品流通科		37	26		63	
アクアライフ科		38	36		74	
特記事項						

2 研究主題等

教科等名	水産	教科課題番号等	1
学校における研究主題	教科「水産」において、水産・海洋の諸課題を科学的に考察し解決するために必要とされる思考力・判断力・表現力等を育成するための主体的・対話的で深い学びを通じた学習指導及び評価方法の工夫改善に関する実践研究		
研究主題設定の理由	<p>本校は創立65年目を迎え、「海にまなび 食にまなぶ 水高」のスローガンのもと、水産・海洋教育を行う唯一の県立高等学校である。本校では、1年次に全学科共通の教育課程を編成し、2年次から学科・コース選択を行い、生徒の希望進路実現に向けて特色ある教育活動を行っている。</p> <p>本校においては、専門的な知識・技術の習得や資格取得だけではなく、思考力・判断力・表現力等を向上させるための授業改善と、実習における思考力・判断力・表現力等を測定するための観点別評価を十分に進めることができていない現状がある。</p> <p>そのために、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を実践し、その評価の在り方を研究していく。</p> <p>(1)「主体的な学び」 学習活動に意欲的に取り組ませるとともに、自己の活動をふりかえる「生徒自己評価シート」を作成し、次につながる学習を進める。</p> <p>(2)「対話的な学び」 生徒同士の協働、教職員や外部（地域）の人との対話を通して、自己の考えを深める授業方法について研究を行う。</p> <p>(3)「深い学び」 学びの過程で、知識を相互に関連付けてより深く理解するために、「評価シート」</p>		

	を活用し、情報を精査して考えを形成し、課題解決に向けた資質・能力を育成する。
研究の内容	<p>水産及び海洋に関する諸課題を科学的に考察し解決するために必要な力を育成し、持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てるために、以下の研究を行う。</p> <p>(1) 「水産海洋基礎」の【基礎実習】において、思考力・判断力・表現力等を育成するための指導方法、単元ごとの評価規準について改善を図る。</p> <p>(2) 授業形態及び評価方法についての「評価シート」、「生徒自己評価シート」を研究開発し、実践する。</p> <p>(3) 「水産海洋基礎」の【基礎実習】において、教師及び生徒がICTを活用する授業の在り方について研究する。</p> <p>(4) 教員及び実習助手を対象としてアクティブ・ラーニングの視点についての研修を行い、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための「学習指導案」を作成し、モデルとなるよう情報発信を行う。</p> <p>(5) 2年目は、開発した「評価シート」、「生徒自己評価シート」を各科の「総合実習」に合わせた形式に改善し、実践する。</p> <p>(6) 各科「総合実習」で行う企業見学の事後学習において、見学内容の整理と学んだことを今後の学習にどのように生かしていくかを考える振り返り活動を重視した指導計画を研究する。</p>

### 3 研究体制等



### 4 研究計画

	実施時期	研究内容, 研究方法, 成果の公開等	期待される成果等
平成30年度	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容・研究体制の確認</li> <li>外部機関との連携協定の締結</li> <li>年間指導計画の作成</li> <li>職員研修及び先進校視察</li> <li>指導方法・評価規準に関する研究</li> <li>生徒授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容について職員の共通認識を図ることができる。</li> <li>授業改善や評価規準に関する職員の理解を深めることができる。</li> <li>研究前後の生徒授業アンケートを比較することで、研究成果の検証を行うことができる。</li> </ul>

平成30年度	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価規準の作成</li> <li>・評価シート等の開発</li> <li>・授業実践</li> <li>・生徒授業アンケート</li> <li>・授業評価シート等の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価規準を明確化して評価シート等を作成することで、指導と評価の一体化を図ることができる。</li> <li>・生徒の授業アンケートの結果を分析することで、開発した評価シート等の改善を図ることができる。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部連携機関からの指導・助言</li> <li>・研究の中間まとめ</li> <li>・校内研究発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した評価シート及び授業実践について外部機関から指導・助言を受けることで、研究の成果と課題を明確にすることができる。</li> </ul>
平成31年度	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容の確認</li> <li>・研究計画書の作成</li> <li>・指導方法及び評価方法の見直し</li> <li>・生徒授業アンケート</li> <li>・職員研修会</li> <li>・学習指導案の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の課題を踏まえ、2年目の研究内容について職員の共通認識を図ることができる。</li> <li>・指導方法及び評価方法の見直しにより、研究内容の深化を図ることができる。</li> </ul>
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シート等の改善</li> <li>・公開授業の実施</li> <li>・生徒授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業を実施して様々な指導・助言を受けることで、研究成果の検証を行うことができる。</li> <li>・生徒の授業アンケートを実施することで、開発した評価シート等の更なる改善を図ることができる。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部連携機関からの指導・助言</li> <li>・研究のまとめ</li> <li>・研究紀要の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部連携機関から指導・助言を受けることで、研究の成果と課題を明確にすることができる。</li> <li>・研究紀要を作成するとともに、ホームページに掲載することで、全国の水産高校に本研究の成果を普及していくことができる。</li> </ul>

## 5 研究のまとめの見直し

### ○研究のまとめと方向性

単元ごとの評価規準を明確に設定し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めることで、専門的な知識・技能の習得だけでなく、思考力・判断力・表現力等の育成や、学びに向かう力・人間性等の涵養を図ることができる。

### ○研究成果の検証方法

- ①「水産海洋基礎」の【基礎実習】の観点別評価規準について校内教育課程研究委員会で検討し、評価規準の整理と学科間の統一を図る。
- ②外部連携機関（福岡教育大学等）から指導・助言を受けながら、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。
- ③開発した「評価シート」を用いて授業実践を行い、実践した教員に「評価シート」についてのアンケートを実施して、評価項目や内容について検討する。
- ④校内研究発表会の実施後、研究協議会を行い、授業評価を実施する。
- ⑤研究前後に生徒の授業アンケートを実施し、生徒一人一人の実践力の育成について検証する。